

2005年10月28日

住宅本部新商品「MyForest(マイフォレスト)」発売記念 「太閤千代しだれ」桜、または、ハナミズキの新品種「ホワイトラブ」 ご成約者へプレゼント

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、平成17年 10月21日より販売を開始した住宅本部新商品「MyForest」の発売を記念して、豊臣秀吉が「醍醐の花見」を行ったことで有名な、京都醍醐寺の通称「土牛の桜」を組織培養で増殖したシダレザクラの幼木（「太閤千代しだれ」桜）、または、当社が開発に成功したハナミズキの新種「ホワイトラブ」を、「MyForest」をご契約いただいたお客様限定でプレゼントいたします。

<「MyForest」新発売キャンペーン概要>

- 商品 : (1)「太閤千代しだれ」桜 限定200本 (2)「ホワイトラブ」 限定150株
- 期間 : 平成17年10月21日～12月31日
(先着順で、数量に達した時点で終了とさせていただきます。)
- 対象 : 平成17年10月21日～12月31日に「MyForest」をご契約いただき、かつ平成18年9月30日までにお引渡しとなるお客様。
- エリア : 北海道を除く当社施工エリア

京都・総本山醍醐寺の三宝院大玄関前のシダレザクラは、豊臣秀吉が“醍醐の花見”として盛大な花見をした桜の子孫と言われており、日本画家の奥村土牛（とぎゅう）が作品「醍醐」に描いたことから通称「土牛の桜」と呼ばれています。近年その衰えが激しくなり、枯死の危険性もあったことからその保存が望まれておりました。シダレザクラの樹勢の回復と後代稚樹の養成を受けた住友林業及び住友林業緑化株式会社（社長：高山隆一 本社：東京都中野区本町1丁目3番2号 住友林業株式会社100%出資の緑化専門会社 以下住友林業緑化）では、「熱帯林再生プロジェクト」で開発したフタバガキ科樹木のクローン大量増殖法の技術をもとに研究に取り組み、2000年4月、「土牛の桜」のクローン苗の増殖に成功。2004年3月、研究所内での初めての開花を確認し、2004年11月境内へのクローン苗の移植を行いました。その後、苗木は順調な生育を示し、今年3月醍醐寺境内にて親木と並んで花を咲かせました。

当社が組織培養に成功したこのシダレザクラの苗木を「太閤千代しだれ」と名付け、新商品「MyForest」の発売を記念して、お客様へプレゼントするものです。

また、「ホワイトラブ」も、住友林業と住友林業緑化が共同で開発したハナミズキの新品種です。ハナミズキは、明治時代に東京からワシントンへ贈った桜の返礼として寄贈された木として有名で、庭園や公園へ植えられ根強い人気を得ています。これまでのハナミズキは枝が大きく広がり剪定に手間がかかるため、樹形の整った品種が求められておりました。そこで当社では、枝が広がらず、花の大きな新品種である「ホワイトラブ」を開発致しました。ロウソクの炎の様な形で、枝振りが乱れず生長が早く、4月下旬から5月にかけてハート型の白く大きな花を楽しむことができます。ホワイトラブは新商品「MyForest」の涼温房の設計思想でいう日射コントロールの落葉高木、つまり夏は葉が繁って木陰をつくり、冬は葉が落ち暖かな日射しを室内に呼び込むシンボルツリーとして提案しており、今回の発売を記念し、お客様へプレゼントするものです。

住友林業は、地球上で唯一再生可能な天然資源である「木」にこだわり、森林育成から住宅事業まで手掛ける総合生活関連企業として、サステナブルな循環型社会の構築に貢献するため、今後も事業を通じて「木」の魅力、

すばらしさをお伝えして行く方針です。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 佐野・佐藤
東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)
TEL: 03-3214-2270

<お客様からの商品に関するお問合せ先>

住友林業株式会社
住宅本部 営業企画部
TEL: 03-6730-3574